

ほおづえ

第5号

- 目次
- 1 会長あいさつ
 - 2 建築学科主任あいさつ
 - 3 平成9年度総会報告
 - 4 北陸支部だより
 - 6 関東支部だより
 - 9 ほおづえ NEWS
 - 10 会員近況
 - 11 学内近況
 - 12 ほおづえ会からのお知らせ

会長あいさつ

無用の用？同窓会

会長 野手 有二（1期）

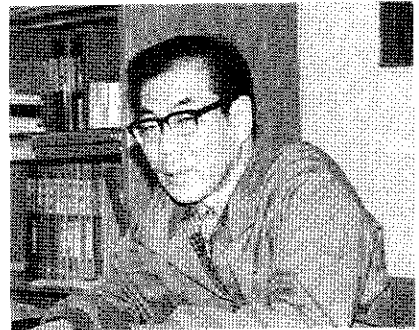
私事である。石動から金沢まで時々JRを利用する。飲んだ次の朝か飲む日の朝だ。空いた席に座って本を読む。隣席の女子学生3人が「壁構造だ、ラーメンだ」の会話が弾む。高専の学生である。二十数年前を思い出して懐かしさを感じた。高専の存在意義がどうのこうの、課題は多いが今更失敗したと、役人も口が裂けても言えない。しかし確実に学生が育ち、巣立っている事実がある。

よく見ると私の周りになんと高専関係が多いことか。同じ釜の飯を食った友が栄転で金沢に赴任。あの頃遊んでばかりいた奴が社長だ、専務だ。京都で修業し郷里に帰って一流大工を目指す後輩。建築法規、ややこしい相談に乗ってくれる市役所の後輩。櫛田先生の出版記念会では懐かしい先生達と裏方の舞台を取り仕切っている後輩達。現場で紹介される工事主任さん。当社の大事なスタッフ達。数え上げればきりが無い。何かと気軽に話せる関係はありがたい。同窓会の目的はやはり親睦が第一。私は非常に満足している。無用の用に価値があるのだ。

堅苦しく考えない事、どんな会でも同じだと私は考えている。しかしせつかくの仲間達、何か事を起こしたいと思っていることは設立当時から変わらない。時期を静観したい。高齢化、環境問題、地方分権推進、行財政改革、情報化社会、次代のキーワードがたくさん並ぶが、人と人、人と自然の接点が基本であることに代わりはない。明日また新しい仲間との出会いが楽しみだ。

平成9年度の建築学科の様子をお知らせします。

まず第一に大変悲しい出来事がありました。皆さんご存知のように、伴先生が平成10年2月4日に突然亡くなりました。思いもかけぬ、心筋梗塞の発作で、救急車で金沢医科大学病院に運ばれた時点でもう手の施しようが無かったと聞いています。伴先生は法政大学の大学院を修了して26歳の若い教官として昭和49年4月に本校建築学科に赴任されました。ちょうど建築学科第一期生の諸君が5年生に在学していた時期と思います。私の知らない時代ですが、本校建築



学科の草創期で学生諸君も血気盛んだったのではないかと思います。懐かしい思い出話があるのではないのでしょうか。ですから建築学科同窓会の全部の学生諸君が伴先生に教えてもらった経験があることとなります。皆さんの方がよくご存知のように、伴先生は本当に、気取らない、さっくばらんな人で、嫌な顔一つせず何でも頼みを引き受けてくださる方だったと思います。それに甘えて、そんなひどい病気がある事も知らず、困ったときの伴先生頼みという面が学生にも、我々にもあったことを今となってはひどく後悔しています。余談になるかもしれませんが、私がよく行く小立野の「チキチキ」という串焼屋さんの奥さんと伴先生のお葬式で偶然出会いました。小学校の同窓生だったそうです。つい2、3日前に同窓会の幹事の集まりで伴さんはどうしてるんだらうという話になって、38年ぶりに電話して話したところだったとっておられました。「今は高専の先生をしていて、5年生の担任で、学年末で忙しいので出席できないけれど、盆の同窓会には必ず行くっちゃ。」と言っておられたそうです。同窓会には伴先生の遺影を飾って、みんなで黙とうされたそうです。不思議な出来事だなあと思いました。伴先生の告別式、前夜式に際しては建築学科同窓会の皆さんに本当にお世話になりました。あらためてお礼を言いたいと思います。全国への連絡や、当日の受付、駐車場の整理など本当にてきぱきとやっていたいただいて、さすが建築業界の人達だけあって遅いもんだなあと感じました。私は就職試験に臨む学生によく言うのですが、うちの学生達は5年間高専の建築学科で学んできて、学内の成績が悪いとか、設計が下手だとか、構力が苦手だからとかいって、自分はだめだと思いがちな面があります。しかし、世の中全体と比較すればすごい力を知らず知らずのうちに身につけているのだということは、我々もよく分かっているし、企業の人達も同じ意見です。同じ事は卒業生諸君にも言えると思います。建築業界はなかなか前近代的な部分が多くて、カッコ良さにかける面もあるかとも思いますが、しかしそこで仕事をするうちに、皆は知らず知らずのうちに社会生活の上で非常に重要な様々な能力を身につけているのだということを忘れないで欲しいと思います。他の分野の職種の人達とは全然比較にならない能力を持っています。そんなことを実感しました。

建築学科は、3月でもう一人の名物先生である、天野先生が退官されます。お住まいは金沢の大桑のままですから、また尋ねてあげてください。大病をされましたが、相変わらずお酒は飲んでいるそうで、「病は気から」を実践されています。天野先生、伴先生のお二人のあと、また新しいスタッフが建築学科に加わることになるでしょう。同窓生の方々もだんだん在職教官より歳が上になってくると思っています。石川高専の建築学科をささえるよきパートナーとして、また相談相手としての役割をよろしく願います。建築学科は毎年受験志願者数でも、電子情報工学科と並んで他の学科を圧倒する人気です。石川高専の存在を支えていると自負しています。しかしなかなか学内では、その特殊性と、後発学科ということで発言権が弱く苦勞しています。卒業生諸君の社会での活躍が、学内の我々や、在校生にとっても、大きな支えになることを自覚してがんばって欲しいと思います。

平成9年度総会報告

平成9年8月13日、午後6時30分より、金沢プリンスホテル内にて、『ほおづえ会平成9年度総会』が行われました。今年度は、会則第10条に基づき役員会をもって総会に代えさせていただきます。ほおづえ会本部役員7名、北陸支部役員3名、関東支部役員2名、および顧問の伴 俊明先生の出席により、以下の議案について承認されました。

第1号議案 平成8年度収支決算報告

〈収入の部〉	
会費（正会員）3,000×317	951,000
会費（準会員）1,000×153	153,000
預り金（次年度分会費）3,000×49	147,000
総会・パーティー費 8,000×47 4,000×1	380,000
寄付金	21,380
貯金利息	698
前年度繰越金	710,253
合計	2,363,331
〈支出の部〉	
総会・パーティー費	484,738
印刷費（名簿・会報2回）	577,624
通信費（総会案内・名簿・会報2回）	266,300
会議費（会場費等）	15,640
慶弔費	23,300
事務費	65,047
次年度繰越金	783,682
預り金（次年度会費）	147,000
合計	2,363,331

監査報告

監査の結果、上記収支決算は適正に収録され、間違いなく支障を認めません。

平成9年8月8日

監査 寺嶋 清人

第2号議案 平成9年度収支予算

〈収入の部〉	
会費（正会員）3,000×350	1,050,000
会費（準会員）1,000×150	150,000
前年度繰越金	783,682
合計	1,983,682
〈支出の部〉	
総会費	100,000
印刷費（会報2回）	100,000
通信費（総会案内・会報発送）	400,000
支部支援費（北陸・関東・中部・関西 各支部）	500,000
会議費	100,000
事務費	183,682
積立金	600,000
合計	1,983,682

北陸支部長 吉田 康弘 (2期)

昨年度8月の北陸支部の設立から1年以上の月日がたち、振り返ると反省点も多いのですが、役員、幹事の皆さんに支えられながら活動し、10月29日に総会を迎えました。

北陸支部は身近な単位で効果的な活動を身上としていますから、あまり会則などにとらわれないで自由に事業を企画していきたいと考えています。ただ、毎回同じ人が参加するのではなく、より多くの会員にいろいろな機会を提供し、ほおづえ会の会員であることの絆を育んでいきたいと思っています。現状においての課題は、毎年行っている事業を見直し会員の参加率をもう少し向上させることであります。

事業の開催時期、場所、内容、効果を十分に検討しながら、ほおづえ会の会員であることの意味を「会員」「準会員」「教官」が共有できるような、そんな気持ちの通い合う「ほおづえ会」となるように、事業委員会のメンバーが中心になって頑張っております。どうか、会員諸兄の暖かいご理解とご協力をお願い致します。

懇親会〈バーベキュー〉

北陸支部事業委員長 越野 明 (9期)

ほおづえ会の懇親会と題してバーベキューを2年ぶりに開催することになり、今年も例年通り、事前に委員会を組み準備万端で望みました。しかし、前日の夕方より雨が降り出し、天気予報もやっぱり雨と言うことで、開催当日は気が重いなあと感じていました。ところが朝起きて窓を開けて見ると雨が止んでるではありませんか。今、思い出してみても幸運だったと思います。

今年は、母校との絆について再確認できたらと思ひ、準会員にも参加頂きました。総勢70名の中には家族連れでお越しの方が多く見受けられ、この事業も参加しやすい好例だったような気がいたします。

4、5カ所のテーブルを囲んで同窓生と在校生が意気投合したり、ビンゴゲームでは自己紹介の場面もあったりと、終始にぎやかな懇親会でした。

最後にこの事業で準備委員会を幾度も重ね、当日の運営に携わって頂いた事業委員会の皆さん、そしてご参加頂いた皆さんにお礼を申し上げます。



▲懇親会〈バーベキュー〉参加者

平成9年度北陸支部総会報告

平成9年10月29日、午後7時より、金沢勤労者プラザにて、『ほおづえ会平成9年度北陸支部総会（役員会）』が行われました。ほおづえ会北陸支部役員12名の出席により、以下の議案について承認されました。

第1号議案 平成8年度北陸支部事業報告

- ・北陸支部設立総会（平成8年8月18日）〔ホテルニューオータニ高岡〕
- ・懇親会バーベキュー（平成9年5月25日）〔石川県森林公園〕

第2号議案 平成8年度北陸支部収支決算報告

〈収入の部〉	
支部支援費	100,000
事業収入（バーベキュー）	100,000
貯金利息	13
<hr/>	
合計	200,013
〈支出の部〉	
会議費（委員会施設利用料）	18,430
通信費（郵便・電話料）	39,480
事務費（コピー代）	520
事業費（バーベキュー）	99,629
次年度繰越金	41,954
<hr/>	
合計	200,013

監査報告

監査の結果、上記収支決算は適正に収録され、間違いなく支障を認めません。

平成9年10月29日

監査 谷保 学

第3号議案 平成9年度北陸支部事業計画

- ・準会員との交流
- ・会員と教官の懇談会
- ・まちづくり事業への参加
など今後事業委員会にて協議の上、具体的に決定する。

第4号議案 平成9年度北陸支部収支予算

〈収入の部〉	
支部支援費	200,000
前年度繰越金	41,954
<hr/>	
合計	241,954
〈支出の部〉	
会議費（委員会施設利用料）	50,000
通信費（郵便・電話料）	80,000
事務費（コピー代）	11,954
事業費（バーベキュー）	100,000
<hr/>	
合計	241,954

関東支部だより

関東支部長 中田 良一（4期）

昨年度（平成8年11月17日）の秋に、ほおづえ会関東支部（略称すじ会）の設立総会を行ってはや1年が過ぎました。

私が、関東支部の支部長を引き受けてから、もっぱら一部幹事内でのサークル活動（飲み会）がほとんどで、関東在住の会員の方に、その後の情報や連絡が行えていないのが現状です。釣り、バーベキュー、スキー、ゴルフの実績は一応あります……。

より多くの会員の方と”同じ学校を卒業した”という理由だけで、仕事でも、プライベートでも、年令に関係なく、つきあえる仲間が増えて行けば、素晴らしい事だと考えています。

また、中部、関西など、他の支部も早く設立される事を期待しています。

関東支部設立、準備会のこれまでの経緯

本部からの”支部を作れ”との呼びかけに対し、関東在住の各期の会員へ任意に呼びかけて幹事会を組織。第1回の会合は94年12月参加人数19名。

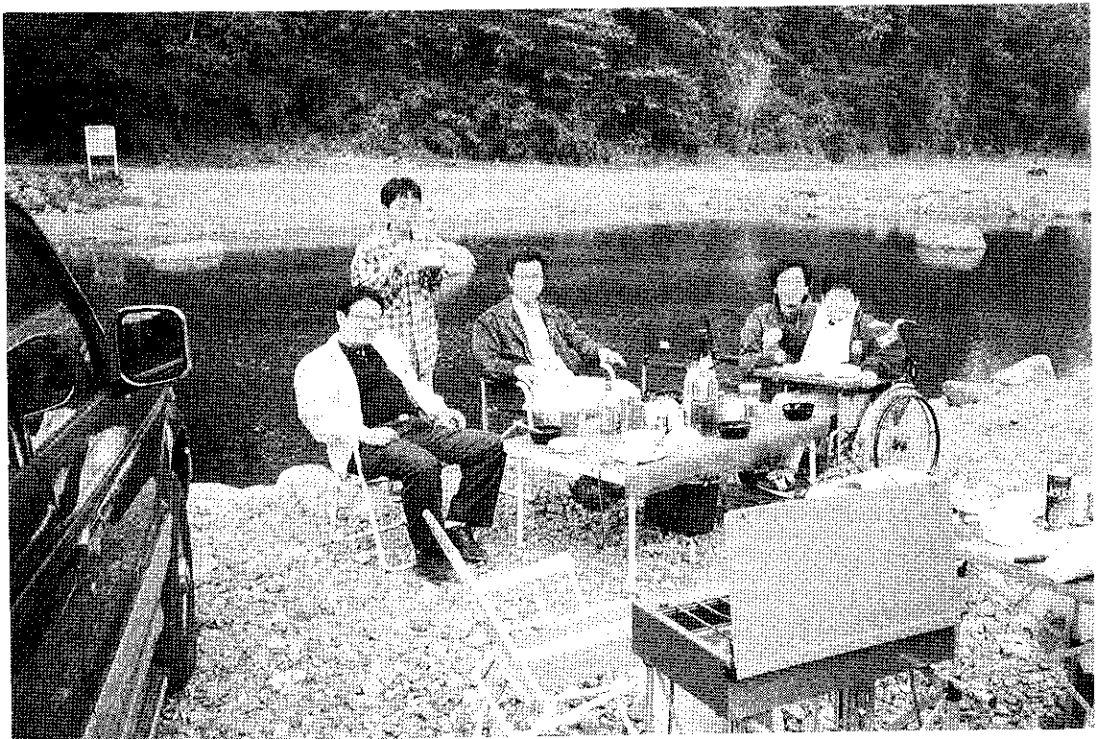
この時から略称として「すじ会」を使用。

同会長を2期 伊藤、副会長を8期 野口（会計兼務）、10期 宮本、15期 高橋、事務局長を3期 前山とし、定期幹事会をほぼ年4回、代表幹事会、執行部会などを不定期に行ってきた。

併行して各種サークルが発足、各地で活動。会報は95年11月より計8号発行。

96年春、幹事会の決議により、支部総会の96年11月開催を決定。

2年間の準備会活動を経て、新執行部、幹事の人事を96年10月17日発表、現在に至る。



▲バーベキューでのスナック

関東支部会則

1. 本会は石川工業高等専門学校建築学科同窓会関東支部（略称「すじ会」と称する。
2. 本会は支部会員相互の親睦を図る事を目的とする。
3. 活動の単位としてサークルを随時設定する。
4. 本会には次の役員を置く
支部長：1名 以下は必要に応じ、支部長が任命する。
5. 本会は会費はない。
6. 本会の会計年度は本部会計に準ずる。
7. この会則は平成8年11月17日より施行する。

関東支部人事

支部長		中田 良一(4期)
副支部長	(会計兼任)	野口 満 (8期)
副支部長	(広報担当)	斉藤 禎美(9期)
副支部長	(事業、サークル担当)	高橋 敏三(15期)
副支部長	(事業、サークル担当)	森山 学 (18期)
事務局	(楯ツヅキ内)	宮本 進治(10期)・竹内 伸好(13期)

関東支部事務局所在地は、最終ページの支部情報をご覧ください。

関東支部役員 支部への抱負

「静かな決意」：宮本 進治（10期）

承ります。がんばります。みんなで楽しい事を考え、みんなで参加しましょう。

「私的公的参加宣言」：森山 学（18期、現役東京大学院生）

高専を卒業してはや6年。高専のぎっしりと詰まった歳月の塊の重さを改めて思う、今日この頃。関東支部総会を準備してきた幹事会の、きっと若い(?)世代の代表、かつ学生の代表として、ここで書かせていただいているのだと、勝手に受け取っています。

「若い世代の方々!今後の”ほおづえ会”、”すじ会”の何等かの活動への参加を切に願ってます。」 私は皆様よりひとし先にここに宣言いたします。



▲3月の送別会でのスナップ

平成8年度関東支部収支決算報告

〈収入の部〉	
前年よりの繰越金	50,483
総会臨時会費他	193,400
銀行利息	38
合計	243,921
〈支出の部〉	
事務用品	2,440
会議費（幹事会等）	16,078
支部総会費用	194,594
次年度への繰越金	30,809
合計	243,921

監査報告

監査の結果、上記収支決算は適正に収録され、間違いなく支障を認めません。

平成9年8月2日

監査 米田 正明

平成9年度関東支部収支予算

〈収入の部〉	
前年よりの繰越金	30,809
その他	100,000
合計	130,809
〈支出の部〉	
事務局経費	15,000
通信費	10,000
事務費	10,000
サークル活動支援費	50,000
在校生との懇親費	30,000
雑費	10,000
予備費	5,809
合計	130,809

平成9年度関東支部事業計画

主な活動予定（平成10年7月31日まで）

平成10年4月	関東地区への就職者 歓迎会
5月	バーベキュー
6月	ゴルフ
7月	在校生との懇親会（東京地区での研修生を対象）

サークル活動

- ・パークラブ（ゴルフ）
- ・魚類学会（魚釣り）
- ・バーベQ
- ・夜間パトロール（飲むだけ）
- ・温泉玉子（温泉ツアー）
- ・SKY

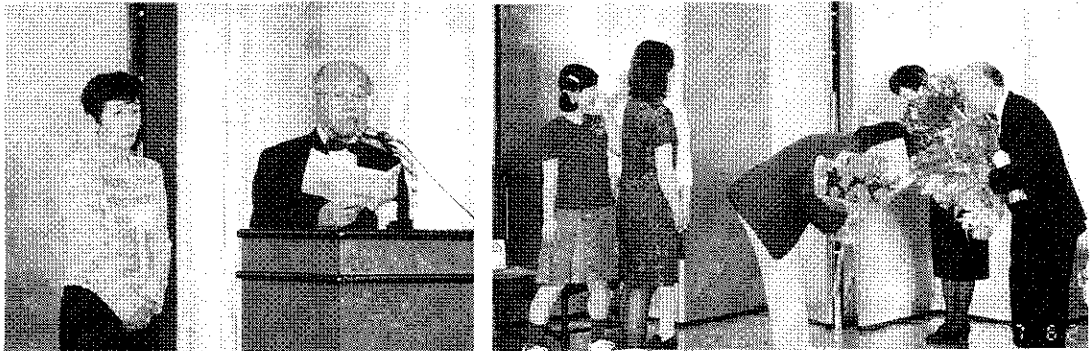
関東支部は各サークルへの参加又は、新しいサークル活動の提案を待っています。
事務局にて受け付け中！ FAXにて連絡ください。
幹事会、執行部会等は、支部長の召集により不定期に行う。
次期支部総会は、幹事会決議に従うため開催は未定。

櫛田 烏亭 先生うてい〈スケッチ金沢〉出版

本校名誉教授の櫛田烏亭（本名 清）先生が、6月〈スケッチ金沢 都市景観を読む〉を出版されました。そして6月21日、金沢東急ホテルにて出版記念パーティーが開かれ約140人が櫛田先生の出版を祝いました。また、記念パーティーに先立ちギャラリー香林坊21で『スケッチ金沢出版記念原画展』も開催されました。

本書は、先生の描かれた水彩スケッチ195点を織りまぜながら金沢の景観を系統的に分類・解説しており、伝統的な街並みから金沢駅周辺・香林坊再開発地区にいたるまで、それぞれのスケッチの中から金沢の都市景観構造を読みとることができるでしょう。

スケッチ金沢 都市景観を読む／著者：櫛田烏亭／発行：北國新聞社出版局／ISBN：4-8330-0978-1／定価：2,100円（税込）
ほおづえ会では、この本の取次をいたします。購入希望者は、事務局（本田）076-262-3545までお問い合わせください。



▲パーティーで挨拶される櫛田先生ご夫妻 ▲花束贈呈

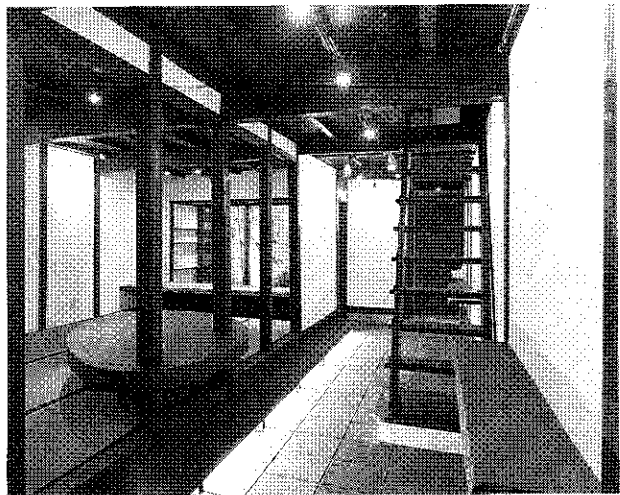
石村 聖一郎 君〈石川県建築賞〉受賞

石村聖一郎君（11期）が、第18回石川県建築賞の奨励賞を受賞しました。受賞作品は『ひがし茶屋街 ゴーシュ』で、金沢市東山の幅員3mの路地に面する築約180年の民家を喫茶店に改築したものです。

外観は格子戸を用いた伝統的なもので、内部は通り土間のギャラリーとたたみの客席および中庭で構成されています。

観光地ということもあり、休日には大勢の人たちでにぎわっていました。

また、この作品で第20回INAXデザインコンテスト銅賞も受賞しました。



▲受賞作品『ひがし茶屋街 ゴーシュ』内部

横井 嘉邦 (10期)

■ 昨年春に独立をしました。

私は昨年3月に市役所を退職し、6月に有限会社を設立しました。コンピュータのソフトウェアを開発する会社です。趣味が高じて本業となりました。

私がコンピュータと出会ったのは、高専の4年の頃だったと思います。その当時ビデオがほしくてためていたお金が、ある日、目にした新聞広告でパソコン購入に化けてしまいました。当時のパソコンは外部記憶装置がない、漢字が使えない、処理が遅い。と、いまでは想像もできないような代物でしたが、初めて触ったキーボードやBASICという名のプログラム言語は、新鮮で私を夢中にさせたものです。このようにコンピュータとの関わりが始まったのですが、運命的な出会いがまだ続きます。5年生になって選択した天野先生の卒業研究では、当時で数百万円するという最新のパソコンを使う機会を得ましたし、就職して間もない頃に所属した課でパソコンによるシステム構築を担当させてもらいました。その後、汎用機やクライアントサーバーシステムに携わる機会にも恵まれ、コンピュータ全般に対する知識を深めていったのです。

しかし、楽しいことばかりではありませんでした。コンピュータに限った話ではありませんが、先駆的なことをする時は、他に聞く人がいません。わかりにくいマニュアルを読み返したり、試行錯誤を何度も繰り返したこともあります。とはいえ、今まで続いたところをみると私にとっては、これが楽しかったんでしょう。

■ コンピュータは目的のない万能道具

あくまでもコンピュータは作業をするための道具ですが、他の道具と違う点があるのにお気づきでしょうか。身の回りで使っているものは、通常すべて目的があって作られ、その目的のために使われます。しかし、コンピュータはそのあらかじめ決められた目的がないのです。ある時はワープロ機になり、ある時はゲーム機にもなる。周辺機器とつなげばその用途は計り知れません。裏を返すと目的なしにコンピュータを買っても何の役にも立ちません。(結構こんな人は多いのでご注意ください!) この目的のない万能道具=コンピュータに命を吹き込むのがソフトウェアです。このソフトウェア次第でコンピュータの使い勝手が決定するといっても過言ではありません。業務ソフトの中には、高いだけで、使いにくいソフトが結構あったりします。(ちなみに、うちの会社のモットーは「使うほどに手になじむシステムをお届けします」です。)

コンピュータは難しいものだと思っている方は大勢いらっしゃると思います。ですが、近い将来、誰でも使える時代が来ると思います。同じ電化製品のテレビがいい例です。どうして画面が映るのか知らない子供でも使ってます。高度な技術に支えられて、操作が簡単になるのです。もちろんコンピュータも改良されて簡単になっているのですが、コンピュータに対する要望がそれを上回っているため、結果として難しくなっているのが現状です。

■ 会社を作ることは簡単です

会社を作ることはそんなに難しくありません。有限会社であれば、資本金300万円(設立準備に、+30万円程度が必要)を用意できれば一人でも設立が可能です。通常、会社設立は司法書士にお願いするんだと思いますが、私は本を見ながら挑戦してみました。というわけで、とりあえずは会社ができましたが、本当に大変なのはこれからです。コンピュータ業界は半年で新しい技術が次々出てきます。その内容と将来性を考慮して新しい技術を選択、吸収するのは一仕事です。そして営業活動や経理もしなくてはなりません。

最後になりますが、職場の送別会でしゃべったオオボラ話があります。「うちの会社は10年後に、20人の社員と年間10億の売上を実現している。」と。

さて、10年後が楽しみです。オオボラ吹きと成功者は紙一重ですから。

石川高専 建築学科 4年 芦本 昇
池永 敦子
竹中 祐美
平野 葉

高専では今年度も様々な行事があり、学生もそれに一生懸命取り組み、大きな成果を上げることができました。

対外的行事としてはまず、夏に行われた北陸地区高専大会があります。この大会において本校は総合優勝し、五連覇を成し遂げました。また、全国大会に進んだそれぞれの部も優秀な成績をおさめました。

次に、10月に行われたロボットコンテスト東海北陸地区があります。本大会で石川高専Bチームが優勝し、全国大会出場を獲得しました。全国大会では、惜しくも2回戦で敗れましたが、全国の強豪相手の健闘も光りました。

恒例校内行事としては、11月1～3日にわたり紀友祭が行われました。紀友祭も今年で32回を重ねることになります。今年の紀友祭は、例年に比べて企画がしっかりしており、様々なアイデアも盛り込まれて、たいへん良いものになったように思われます。展示でスタンプラリーをする「テンブラ」は多くの方々の反響を呼び、各展示場所には例年以上の見学者が訪れました。また、昨年好評だった。千人とん汁にかわって今年は千人とり野菜となり昨年同様好評となりました。

今年の紀友祭のテーマであった「打ち上げ花火」を空缶の壁画で表現したり、ビンゴ大会では、パラシュート付のペットボトルミサイルが打ち上げられ、フィナーレには本物の華やかな打ち上げ花火が夜空を飾りました。

建築学科では今年も4年生による研修旅行が行われました。今年の旅行では、広島および九州方面を回りました。初日は朝7:30に金沢駅に集合し広島に向かいました。原爆ドームや資料館などは中学校の修学旅行で一度訪れたことのある学生もいましたが、みな真剣に見回り過去に広島の地であった現実を重く受けとめました。2日目は熊本へと向かい、その後班に分かれ自主プランで市内を巡りました。熊本では今アートポリス構想というまちづくりが実行されており、前衛的建築物が新たに建てられるようになっています。それらを巡ることはたいへん勉強になりました。3日目には長崎のグラバー園、4日目にはハウステンボスを見学しました。特に、ハウステンボスではその広さと、整然たるまちづくりに目を見はりました。最終日の5日目には福岡で西日本展示場新館の建設現場を見学させていただきました。張弦梁構造という見慣れない構造で75mの大スパンを渡している様子にはみな興味津々で、現場監督の方のお話に聞き入っていました。

残すところ後わずかとなった高専生活の良き思い出となるよう諸先生方のご協力の下4年生一同下調べから企画まで自分たちの手でやったかいがあり、とても良い旅行となりました。

紀友祭、3年生の1泊2日の合宿、4年生の研修旅行も終わり、それぞれが次年度に向けて、期待や不安を抱えながら過ごす時期にさしかかりました。5年生の進路状況は、クラスの2割程度が大学へ進学し、残りの学生が就職するということになっています。就職希望者は就職協定の廃止もあり、状況は厳しい様子でした。来年はもっと厳しくなるでしょう。しかし逆境だからこそ得るものも少なからずあるはずと思いがんばっていきたいと思います。

最後に、昨年3月に亡くなられた物理の間谷先生のご冥福をお祈りして、今年度の報告を終わらせていただきます。

1. 支部情報

中部支部：現在、山本進一氏(2期)を中心に支部設立準備が進められています。
今期中に、中部在住会員に支部設立の趣旨説明等を行う予定。

関西支部：現在、井口秀栄氏(2期)を中心に支部設立準備が進められています。
今期中に、関西在住会員に支部設立の趣旨説明等を行う予定。

北陸支部事務局：〒920-0935 石川県金沢市石引1-7-16 金沢デザイン建築専門学校内
TEL:076-262-3545 FAX:076-222-9229 E-mail:hozue@anet.ne.jp
事務局長：家山 真(14期)

関東支部事務局：〒105-0013 東京都港区浜松町1-11-6 あずまビル4階 ㈱ツヅキ東京支店内
TEL:03-5470-1941 FAX:03-5470-1946
事務局：宮本 進治(10期)・竹内 伸好(13期)

2. 住所変更の届け出のお願い

前回の名簿発行時より、住所・勤務先等の変更があった会員は、ご面倒でも下記事務局、または各支部事務局までご連絡ください。

3. 会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員のみなさまの会費によって運営されています。会費の納入にご協力お願いいたします。

4. 訃報

伴 俊明先生が、平成10年2月4日、永眠されたことをお知らせいたします。

新 裕考君(12期)が、平成9年12月27日、永眠されたことをお知らせいたします。

ご冥福をお祈りいたします。

5. 原稿募集

会員のみなさまより原稿を募集しております。近況報告・ニュース・ご意見等テーマは、問いません。下記事務局まで、郵送・FAX・E-mailにてお送りください。

編集後記

まず今回は諸事情が重なり、発行予定が大幅に遅れてしまったことをお詫びいたします。なんとか発刊の運びとなりましたのはご協力いただいた大勢の方々のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。さて、広報委員会ではヤル気のある人材を広く募集中です。出来ましたらメールが出来る環境の方がありがたいのですが贅沢は言いません。我こそは！と思う方は山岸(z-yama@nsknet.or.jp)までご連絡の程、よろしく願いいたします。

広報委員長：廣田 雅之(mhirota@nsknet.or.jp)

広報委員：山岸 学(z-yama@nsknet.or.jp)

平成10年2月25日発行

編集／発行 石川工業高等専門学校建築学科同窓会事務局

〒920-0935 石川県金沢市石引1-7-16 金沢デザイン建築専門学校内

TEL 076-262-3545 FAX 076-222-9229

E-mail:hozue@anet.ne.jp